

令和7年度

医学部看護学科
後期日程一般選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所がある場合は、申し出ること。
3. 解答はすべて別紙解答用紙のそれぞれの解答欄に記入すること。
4. 解答用紙の指定された欄に、忘れずに本学の受験番号と氏名を記入すること。

問題は次のページから始まります。

問題は和文と英文があります。

※最終ページに草稿用紙を添付しています。

令和7年度 三重大学医学部看護学科 一般選抜（後期日程）
小論文（和文）

問題用紙（1/1）

問題Ⅰ 次の文章を読み、問1、問2について解答用紙に答えなさい。

何かにつけて怒りっぽい人がいます。他人から見ると小さな問題であっても、見過ごせないようです。

（ 中 略 ）

そもそも、いつも誰かに文句を言っているというのは、幸せな人とは思えません。

儒教の伝統的な教えに「修身・齐家・治国・平天下」があります。己の身を修めて律し、家を整え、国を治め、天下が平和になる、ということです。自分の思うようにしても矩を躓えない。つまり世間の規範から外れない、人に迷惑をかけない。

その修身ができていないのに「あいつが悪い」「これが悪い」などと言っても仕方ありません。本当に自分が幸せな状態とはどういうものか、わかっていない人が多いのではないのでしょうか。

料理研究家の土井善晴さんの著書『一汁一菜でよいという提案』（新潮文庫）にとっても良い文章があります。

「暮らしにおいて大切なことは、自分自身の心の置き場、心地よい場所に帰ってくる生活のリズムを作ることだと思います。その柱となるのが食事です」

これを私は「自足の思想」と呼んでいます。自分自身が幸せな状態をつくるのが一番大切だという考え方です。政治や社会に関する大きなテーマを考えるにしても、個人のレベルで基本にすべきは、この考え方ではないのでしょうか。

自分にとって居心地のいい状態を知っておくのはとても大切です。これを誰もができているとは限らない。自分自身の限界とも関係するため、見極めるのが難しいのです。感覚をおろそかにすると、わからなくなります。

「自分自身の心の置き場、心地よい場所」で暮らすことが自分自身の精神にも良いはずなのですが、つい別のほうに頭を使って、不満やストレスを抱えている人がいかに多いことか。わざわざ面倒なことに首を突っ込み、腹を立てている。

その点、よほどネコのほうが賢いのではないのでしょうか。自分にとって一番気持ちのいい状況に身を置くようにしています。それを見つけたらひたすら寝転んでいる。

正反対が政治家です。常にある意味で「上から目線」で物を考えている。地球温暖化がどうだ、SDGs がどうだ、と常に大きな話ばかりしている。結局、日常から切り離された思考におちいつているのです。

その傾向は政治家に限らず、日本全体に浸透してしまっています。一体、どういう状況が一番いいのか、安定しているのか、国民が幸せなのか。政治家にせよ、一般国民にせよ、このことを真剣に考えていないのではないのでしょうか。

出典 養老孟司（2024）. 人生の壁. 新潮社, pp.168-170 より一部抜粋・改変

注釈 SDGs : 「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称である。

問1 「自分にとって居心地のいい状態にする」ことの難しさについて、本文の内容を要約して100字以内で述べなさい。

問2 下線の著者の考えについて、利点と欠点を踏まえてあなたの考えを400字以内で述べなさい。

令和7年度 三重大学医学部看護学科 一般選抜（後期日程）
小論文（英文）

問題用紙（1/1）

問題 I 次の英文を読み、問1から問3について解答しなさい。

In the last 12 years, the number of infants under six months of age globally who are exclusively breastfed has increased by more than 10%. This means 48% of infants worldwide now benefit from this healthy start in life. It translates to hundreds of thousands of babies whose lives have been saved by breastfeeding.

While ①this significant leap brings us closer to the World Health Organization target of increasing exclusive breastfeeding to at least 50% by 2025, there are persistent challenges that must be addressed.

When mothers receive the support they need to breastfeed their babies, everyone benefits. Improving breastfeeding rates could save over 820 000 children's lives each year, according to the latest available data.

During this critical period of early growth and development, the antibodies in breastmilk protect babies against illness and death. This is especially important ②during emergencies, when breastfeeding guarantees a safe, nutritious, and accessible food source for infants and young children. Breastfeeding reduces the burden of childhood illness, and the risk of certain types of cancers and noncommunicable diseases for mothers.

This World Breastfeeding Week, under the theme "Closing the gap: Breastfeeding support for all", UNICEF and WHO are emphasizing the need to improve breastfeeding support as a critical action for reducing health inequity and protecting the rights of mothers and babies to survive and thrive.

③An estimated 4.5 billion people – that's more than half of the world's population – do not have full coverage of essential health services, so many women do not receive the support they need to optimally breastfeed their babies. This includes access to trained, empathetic and respectful health advice and counselling throughout a woman's breastfeeding journey.

[出典]

On World Breastfeeding Week, UNICEF and WHO call for equal access to breastfeeding support. Statement by Catherine Russell (UNICEF Executive Director) and Tedros Adhanom Ghebreyesus (WHO Director-General). (2024, July). (一部抜粋)

<https://www.who.int/news/item/31-07-2024-on-world-breastfeeding-week--unicef-and-who-call-for-equal-access-to-breastfeeding-support> (閲覧日：2024年8月28日)

[注釈]

breastfeed：母乳で育てる, breastfed：母乳で育てられた, persistent：粘り強い, antibody：抗体,
nutritious：栄養のある, accessible：手に入りやすい, noncommunicable：非感染性の, integrity：完全な状態,
thrive：健康に育つ, estimated：推定の, coverage：行き届く範囲, optimally：最適に, empathetic：共感して,
respectful：[…に]敬意を払う

問1. 下線①の内容を具体的に日本語で記述しなさい。

問2. 下線②の状況下における具体的な授乳支援について、あなたの考えを日本語400字以内で述べなさい。

問3. 下線③を和訳しなさい。